

1. 学校教育目標

子ども一人一人が輝く学校

2. 重点目標

生きる力を身につけた子どもを育てる

3. 各評価項目の重点と具体的方策

(1) 学校経営の重点

重点目標～ 生きる力を身につけた子どもを育てる

具体的方策～ 互いの違いを認め合い、思いやる心や感動する心を育み、個性を尊重し合う集団を育てる

(2) 学習指導の重点

重点目標～ 意欲的に学ぶ子どもを育てる

具体的方策～ 個に応じた指導法を工夫する

(3) 生活指導の重点

重点目標～ 違いを認め合い、助け合える子どもを育てる

具体的方策～ 決まりを守って行動できるようにする。

(4) 保健管理・指導の重点

重点目標～ 自分の健康について考える子どもを育てる

具体的方策～ (ア) 身の回りの清潔に気をつけるようにする

(イ) けがの防止に気をつけるようにする

(5) 研修の重点

重点目標～ 授業研究会・研究会・研修会などを通して指導力の向上に努める

具体的方策～ 年間計画に基づいて研修を深める

(6) 人権教育の重点

重点目標～ 人間尊重の精神と態度を養い、心豊かな子どもを育てる

具体的方策～ 自分のよさに気づき、友だちを大切にする心を育てる

4. 評価項目の達成状況

評価項目	達成状況	評価の理由
(1)学校経営	B	相手の話を最後まで聞いたり、自らの考え・思いをわかりやすく伝えたりすることの大切さについて指導してきたことにより、自他の尊厳を認める態度が育ってきた。また、児童の実態に合わせた指導や支援のあり方を工夫してきたことにより、成果を得ることができたが、個人差は大きい。
(2)学習指導	B	教材・教具の工夫をしたり、学習形態や指導体制の工夫をしたりするなど、個に応じた指導法を工夫してきた。その結果、意欲的に学ぼうとする子どもが育ってきた。
(3)生活指導	B	学校生活のあらゆる場面で、カウンセリングマインドを取り入れた指導を心がけ、ねばり強く声かけや話し合いを続けてきた。また、学校だより等で保護者への呼びかけも行ってきた。その結果、きまりを守ろうとする意識は高まってきた。しかし、まだ十分とはいえない。
(4)保健管理・指導	B	健康委員会で清潔しらべをしたり、保健だよりを活用したり、健康週間の取り組みや週目標に設定したりするなど、いろいろな機会をとらえて指導してきたので、児童の意識は高まってきた。廊下・階段の安全な歩行については、日々指導してきたので、意識すれば行動できるようになってきた。
(5)研修	B	計画にもとづいて、救急救命講習会、外国人教育研修会、英語活動研修会等を実施し、成果をあげることができた。また、各種の研修会への参加体制が整い、教育実践に生かすことができた。
(6)人権教育	B	機会あるごとに児童のよさを認めてほめたり、グループ活動や相互評価の場を多くもったり、ゲストティーチャーを招いて話を聞いたりしてきた。また、家庭との連携を図るよう努めてきた。その結果、自分のよさに気づき、友だちを大切に作る心が育ってきた。しかし、個人差があるので、粘り強く指導を継続していく必要がある。

5. 次年度への改善点

- ・個別指導の時間を確保するとともに個に応じた指導や支援のあり方についてより一層工夫していく。
- ・「カウンセリングマインド」や「ストレスマネジメント」などの研修を行い、指導のスキルを高めていく。
- ・保護者・地域との連携をさらに図っていくとともに、連携のあり方を工夫していく。
- ・ほとんどの児童が、ハンカチ・はなかみを持ってくるようになった反面、忘れてくる児童が固定化する方向にあるので、引き続き家庭との連携を図る必要がある。